

都市緑地の創造と保全および利活用

緑環境景観マネジメント研究科 大藪 崇司



キーワード

都市緑地、緑化、植栽基盤、植物生理、LI-6800、ドローン

研究概要

都市緑地の創造と保全および利活用に関して樹木の生理学の視点から研究を行っています。

庭園や公園、道路緑化、屋上緑化、壁面緑化などさまざまな緑地が造られています。そこでは人為的に植栽された樹木の適正な管理が求められます。工事による土地造成や植栽は、短期間で行われることが多いのに対して、樹木が大きく成長するには長年月を要します。その間のトラブルを解決し、利用者がより快適に過ごすことができる空間作りを目指しています。またこれらの技術を活用し、より大規模な緑化が可能な海外での持続的な植林技術の開発や展開も行っています。

アピールポイント

本研究室では、樹木生理測定技術としてLI-6800を用いた光合成蒸散測定技術やクロロフィル蛍光測定技術を有しています。また、広範囲な緑地計測技術として、リモートセンシング技術やドローン技術を駆使してNDVIや3D計測を行っています。さらに生育基盤としての土壌分析にはpH測定やEC測定などの計測からより詳細な物理化学性の分析技術を提供することで様々な樹木の健全な育成を目指します。

応用分野

- ・都市緑化
- ・緑地デザイン
- ・企業CSR
- ・生態系サービスの定量評価
- ・自然再生
- ・海外植林
- ・環境教育
- ・環境保全

などに応用できます。



LI-6800での光合成蒸散測定の様子